

EU拡大後の欧州の産業再編とエネルギー問題への取り組みに関する調査研究

(報告書の概要)

EU域内では、電力やガス等のエネルギー市場の自由化が急速に進められており、競争激化に伴って国境を越えたM&A・産業再編が進展している。こうした中で、一部の国においては、自国のエネルギー安全保障等を理由にM&Aや産業再編を規制する動きも見られる。

本調査研究は、EU域内のエネルギー分野における国境を越えたM&Aの現状を整理した上で、主要国におけるエネルギー安全保障の考え方、エネルギー産業・企業に対する考え方、外国投資規制の状況等について把握するとともに、欧州のエネルギー分野のM&Aに関連する重要な出来事についてケーススタディを行い、最終的に我が国の政策に対する示唆をとりまとめた。

ケーススタディにおいては、「E.ON等による Endesa 買収計画」及び「GDF と Suez の合併合意」等の事例に関して、海外現地調査等を実施し、その結果を整理した。

(報告書の主要構成)

- (1) EU域内のエネルギー分野における国境を越えたM&Aの動向
- (2) EU主要国の進める自由化・民営化の状況と競争推進に対する考え方
- (3) EU主要国の国益保護に対する方策とその考え方
- (4) ケーススタディ
 - E.ON等による Endesa 買収計画
 - GDF と Suez の合併合意
 - サードパッケージ
- (5) 我が国の政策への示唆